

新宮山彦ぐるーふ第2403回

行仙宿の巡回整備

◇実施日 11月30日（日）

◇参加者 梶野照雄

1名 晴

行仙宿小屋の南側で5年ほど前からある倒木を縦挽きして板を作ったが、その残りが斜面に置いたままになっている。登山道まで引き上げて、マキ材にしようと思い行仙宿に向かった。午前1時過ぎに登山口に着き、モノレールで登り始める。モノレール添いの登山道に枝を切ったアセビが多数放置されているのが見えた。



枝が落ちている

寄贈品

目立てしてみる

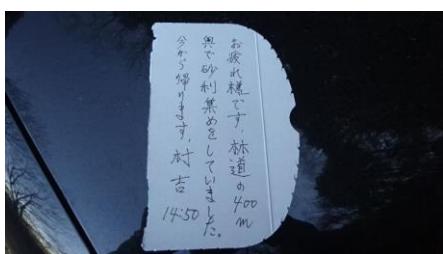
行仙宿に着いて小屋に入ると電源開発からの水やガスボンベが置いてあった。お湯を沸かしてまず昼食を摂る。食後、チェーンソー

メモがあった

砂利を入れた袋

水場は健在

ワインチやワイヤーロープを持って小屋南へ向かい、丸太3個と4mの端材を引き揚げた。先日引き揚げた5m近い板と違い、重さが



丸太を引き上げ



管理棟に移す



コーラ代金回収



を出して目立てしてみる。

あまり無いので割合短時間で引き上げる事が出来た。目立てした
チエーンソーはやはり切れ味が悪く、突き出た枝を3本ほど切つた
ら切れなくなってしまった。チエーンソー や ウインチなどを倉庫に
戻し、電源開発の寄贈品を管理棟に移した。コーラ代金を回収、5
000円だけを袋に入れ、1000円ほどを代金箱に残した。戸締
りを確かめて下山、登山口に戻ると車のフロントガラスにメモが挟
んであった。村吉さんも来ていたようで、登山口先の林道で砂利を
集めていたらしい。朝にはなかつた土嚢袋が積まれていた。

(記 ; 梶野)

行動タイム

11：05 補給路登山口→11：37 行仙宿 15：10→15：32 補給路登山口